

概要

昭和初期からの根釧地域の開拓の歴史を語る旧北海道農事試験場根室支場(以下「旧農試」と略す)を文化的な空間を創出するための計画区域「文化財保存活用区域」(以下「区域」と略す)として設定し、「中標津しるべつなぎ構想」のコアとして保存・活用の方針・措置を立てる。

構成文化財



白樺並木



土塁



(左)開場当初 (右)現在



番号	名称	種別
1	旧北海道農事試験場根室支場庁舎	建造物(国登録有形文化財)
2	同 陳列館	建造物(国登録有形文化財)
3	同 種苗倉庫	建造物(国登録有形文化財)
4	同 農具庫	建造物(国登録有形文化財)
5	同 土塁	土地の形質
6	同 圃場	樹木
7	同 白樺並木	樹木
8	同 防風林	樹木
9	同 クリの木	樹木
10	同 桜並木	樹木
11	同 イチイの木	樹木
12	同 ミズナラの木	樹木
13	同 オオモミジの木	樹木

※1未登録含む。 ※No.2陳列館は場内より森林公園へ移築復元されている。

国登録
有形文化財



旧庁舎



旧陳列館



農具庫



種苗倉庫

「区域」に関する現状・課題

- ①保存する上での課題
- ②価値を共有する上での課題
- ③地域に活かす上での課題
- ④持続可能な保存・活用に向けた仕組みづくりが課題

「区域」に関する方針

- ①開場以来の遺構を一体的に保全する
- ②ふるさと愛を育む - コア博物館機能の充実化
- ③歴史文化を活かした地域づくり - 観光・商業・産業振興
- ④人づくりまちづくりの拠点 - コミュニティの場

「区域」に関する主な措置

46 個別の「文化財保存活用計画」作成事業

文化財の所有者・管理者および専門家等による検討委員会を設置し、個別の文化財に対する保存活用を図るための事業計画を立てる。

■行政／専門家／文化財所有者・管理者 ■R9～12

55 博物館施設(増築棟)の整備の検討

歴史文化を踏まえたストーリーに基づく郷土資料の展示公開、資料の保存管理、教育普及事業等の博物館機能の充実化を図るため旧庁舎に隣接して博物館施設(増築棟)を設置することを検討する。

■旧農試建造物保存修理検討委員会(仮称) ■R13～15

60 観光ガイド機能の検討

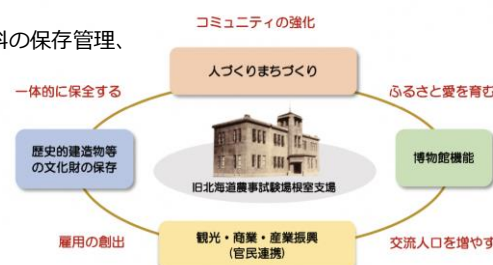
文化財の周遊ルート拠点である旧庁舎にて観光案内を行えるよう観光案内ガイド機能についても検討していく。

■行政／町民・民間団体 ■R13～15

65 町民・町民団体の活動拠点

旧庁舎に、町民や町民団体、企業が、会議やイベントを開催できるよう多目的室を設ける。

■町民・民間団体 ■R13～15



中標津町文化財保存活用地域計画を策定しました

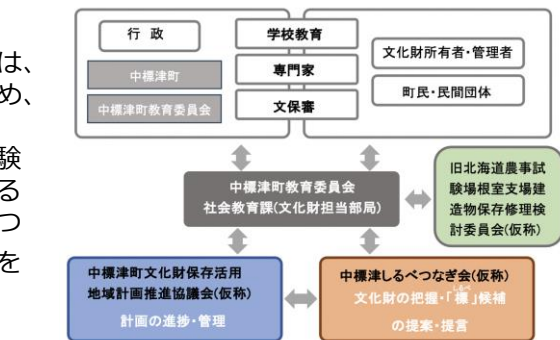
「中標津町文化財保存活用地域計画」は、近年の全国的な過疎化・少子高齢化の進行、自然災害の発生により文化財を取り巻く社会状況が大きく変化してきており、文化財のき損・滅失・散逸を防ぐための対応として、平成31(2019)年に文化財保護法の改正により、制度化された概念に基づき令和2(2020)年より4ヵ年で作成しました。令和5(2023)年12月15日付で開催された文化庁文化審議会文化財分科会において、札幌市、今金町に次ぐ道内3例目の認定を受けました。

本計画作成の目的と役割

- 先人たちの苦勞と成功体験の物語を忘れずに、“なかしべつらしさ”を大切に受け継ぎ、町の文化財保護担当部局の枠を超えて、行政と町民、民間団体、企業、専門家が相互に連携協力して、文化的なまちづくりへと歩みを進めることが本計画作成の目的です。
- 地域の人々が大切に受け継がれてきたものや、地域社会に埋もれてしまっている文化財を再発見し、衆目の知るところとすることにより、新たな価値を見出すことが本計画作成の持つ役割です。

推進体制

町全体で文化財の継承に向けた保存・活用の取り組みは、文化財保護行政部局のみならず、町民・町民団体をはじめ、庁舎内部局、関係機関との連携により進める。また、本計画の進行・進捗状況を管理するため学識経験者、文化財所有者・管理者、関係機関、団体が構成される以下の協議会を設置する他、町民が主体的に『なかしべつ遺産「標」』の構成文化財の掘り起こしや、発案・提案を行う場を設置する。



歴史文化の特性

1. 標津川とその支流が支えてきた奥根室の人々の暮らしと産業

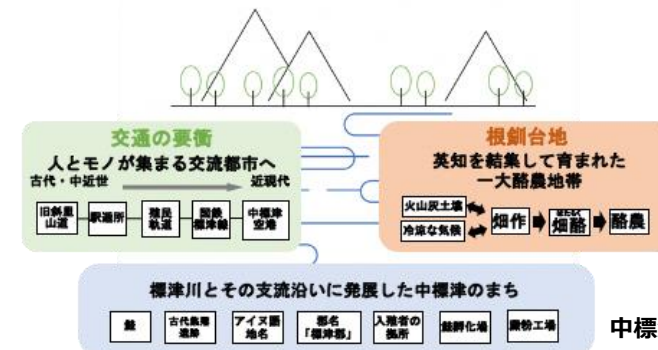
母なる川「標津川」とその支流をよりどころに育まれた奥根室の人々の暮らしや産業が、中標津町の歴史文化の特性を形成してきた

2. 人とモノが集まる「交通」を通じて育まれた、時代を象徴する歴史文化

古代から連綿と使用されてきた踏み分け道にはじまり、空の玄関口の空港まで、人とモノが集まる根室地方の交通の要衝として、時代時代を象徴する文化財が生まれてきた

3. 先人の幾多の苦勞と成功を礎に形成された一大酪農地帯が生み出す根釧台地の風景と歴史文化

畑作が中心であった生業が、繰り返す冷害凶作により酪農へと転換が進み、先人の幾多の苦勞と成功を礎に一大酪農地帯が形成され、独特の景観や暮らしの潤いが生み出された



中標津町の歴史文化の特性

将来像

酪農文化を代表とする先人の苦勞と成功により築き上げてきた多様な歴史文化の価値を共有し、人と人がつながることで、文化財を町全体で守り・活かし、次世代へ引き継いでいく誇りと愛着を持って住み続けたいまち

文化財の保存・活用に関する課題・方針・取組み

基本方針1 文化財を掘り起こし、価値を広める	基本方針2 歴史文化を守り、郷土への愛着や誇りを育み、地域に活かす	基本方針3 歴史文化の継承に向けた仕組みをつくる	
①文化財の調査が不足している ②文化財の価値の共有が不十分	①文化財の価値を適切に評価していく必要がある ②少子高齢化による「担い手」、「伝承者」の不足 ③資料の保存管理施設の確保が不可欠 ④文化財のデジタル・アーカイブ化が必要	①文化財の公開活用に向けた整備が必要 ②文化財の観光活用に向けた取り組みが必要 ③学校教育・生涯学習における文化財の活用の充実化が求められる	①歴史文化の継承に向けた仕組みづくりが必要
方針1 文化財調査の推進 方針2 文化財の価値を広める	方針1 文化財について、適切に価値評価を位置付ける 方針2 文化財を守り、地域の「担い手」をつくる 方針3 郷土館機能の維持及び施設整備の検討 方針4 文化財のデジタル・アーカイブ化の推進	方針1 博物館機能の充実化・再構築を図る 方針2 文化財を磨き上げ、地域社会に活かす 方針3 先人たちの記憶をひろめ、郷土への愛着や誇りを育む	方針1 歴史文化の継承に向けた仕組みづくりの促進
1 文化財総合的把握調査 町域に所在する美術工芸品や民俗文化財等について、類型ごとに網羅的に把握するための調査を実施する。 ■中標津しるべつなぎ会(仮称) =町民が主体的に文化財を提案したり、取り組みについて提言するための会議であり、本計画策定後に新しく設置する。 ■R6～15 文化財総合的把握調査	19 郷土資料収蔵庫の整備の検討 適切に文化財を保存管理するための施設整備に向けた財源、立地についての検討を進める。 ■行政 ■R6～15 郷土資料移転作業	27～32 歴史文化を活かした観光プログラム事業の推進 歴史文化をテーマとした滞在コンテンツ(体験観光プラン、まち歩きルート)の企画立案、ブレッサー、イベントの実施の他、先端技術によるコンテンツ開発やテキストブック、冊子づくりなどを行い、魅力あるまちづくりを推進していく。 ■行政、専門家、町民、民間団体 ■R6～15 モニターツアーの実施	41 中標津町文化財保存活用地域計画推進協議会(仮称)の設置・運営 文化財保存活用地域計画の進捗状況の確認及び見直し、事業推進のための協議会を設置し、開催する。 ■行政、市民・団体、所有者等、教育機関、専門家 ■R5～14 中標津町文化財保存活用地域計画協議会

重点施策 中標津しるべつなぎ構想

『なかしべつ遺産「標」』のストーリーとそれらを構成する文化財を町民が身近に感じて学び、訪問者と分かち合うことのできる仕組みをつくる
・コア博物館 ・エリア博物館 ・サテライト ・トレイル等

文化財の一体的・総合的な保存・活用 【重点施策：中標津しるべつなぎ構想】

中標津しるべつなぎ構想

本構想は、**町全域を一つの博物館と見なし**、旧北海道農事試験場根室支庁庁舎を**コア(中核)**に、複数の『なかしべつ遺産「標」』のストーリーと現地で保存されている文化財、自然などの**サテライト**や、展示機能をもつ工場見学、公共施設などの**サテライト博物館**をめぐり、町民が文化財を身近に感じ、訪問者と分かち合うことのできる仕組みを作ること。

なかしべつ遺産「標」(関連文化財群)の設定

町の文化財の背景にある**先人たちの苦勞と成功体験の物語を6つ設定した**。これらは、後世に伝える**標**となることから、町の地理的・歴史的ゆかりの深い字を用いて、『なかしべつ遺産「標」』と名付けた。



例：●●●● 近代化産業遺産をめぐるとレイル
●●●● 古代から現代までの道と駅を発見するトレイル
●●●● 酪農景観と格子状防風林を体験するトレイル

【構想の構成要素】

コア博物館
=「文化財保存活用区域」エリア
中核の拠点施設。博物館機能(資料の収集・保管、展示、調査研究)、『中標津しるべつなぎ構想』事務局、観光案内機能、市民活動の場の並置。

サテライト博物館
展示機能を持つ既存施設。
例：温泉・宿泊、工場見学・体験、空港や公共施設など。

サテライト
現地で保存されている文化財や自然など中標津の歴史を物語る遺産。構想の主役。

トレイル
コア博物館、サテライト博物館、サテライトを『なかしべつ遺産「標」』のストーリーで結ぶ回遊路として案内地図、誘導サイン等を整備する。